

3月2日

卒業式に想う . . .

3月1日（木）、本校の体育館において3年生318名が晴々とした姿で巣立っていきました。卒業生の3年間はどのようなものであったか？満足した思いで旅立つ者、不完全燃焼の思いで旅立つ者、いろいろな思いがある門出であります。

今巣立っていく子供たちには、悲観的状況が多々あることは確かな事実だと思います。景気の回復は、いまだ先を見とおせない状況が続いています（長く続きそうです？）。経済学者でも評論家でもありませんが、今の40代以降の人が経験した経済状況には二度と戻らないのではと思います。

でも、「明けぬ夜はない」と言います。柔軟な頭脳で創造力を高め、今までにない発想で新製品やシステムを創って欲しいと思います。

頑張れ若人、君たちには無限の可能性がある、そして時間もたっぷりある。過去は動かぬ事実があるだけ、今日と未来に向かって自分を信じて頑張れ！
